

湾岸産油国に対する技術協力の実績及び今後の課題（新シリーズ）

第1回：湾岸産油国における緑化・農業分野での技術協力

国際耕種株式会社は、アラブ首長国連邦ならびにオマーンを中心とした湾岸産油国において、1976年以降、沙漠緑化・乾燥地農業関連の技術協力活動に直接・間接に関わり合ってきた。日本沙漠開発協会が実施したアスファルト止水盤の試験農場プロジェクト、静岡大学とアラブ首長国連邦大学の共同研究プロジェクトには、JICA 専門家として直接に現場の活動に参加させて頂いた。また、国際協力事業団が実施した水産養殖プロジェクト、鹿島石油株式会社が実施したサンドポニックスのモデル農場、株式会社タイキが実施した植林活動の現場にも度々訪問する機会があり、様々な情報を得ることが出来た。また、1985年にはドバイ市郊外の修景緑化プロジェクトに参加し、緑化計画の企画・設計、育苗圃の設立、現場での苗木の植栽等技術面の業務だけでなく、資機材の搬入から人事にいたるプロジェクトの運営そのものに携わった。昨年からは、新たにオマーンのサラールでも JICA 長期専門家として、現地技術者に作物栽培の指導等の技術協力をさせて頂いている。これらの活動の概要は以下に示す通りである。

名称	目的	実施期間	実施機関	相手機関
日本沙漠開発協会 アブダビ試験農場	アスファルト止水盤の効果に関する圃場試験を中心とした沙漠緑化関連資機材の適用試験	1976-1980	日本沙漠開発協会	アブダビ農業局
水産養殖プロジェクト	水産資源開発センターにおける養殖技術の開発、普及等に係る技術協力	1980-	国際協力事業団	アラブ首長国連邦農業省
鹿島・アブダビ・ファーム	サンドポニックス利用による商業ベースのモデル農場の設立及び管理運営	1980-1990	鹿島石油株式会社	アブダビ農業局
乾燥地造林プロジェクト	沙漠緑化政策の一環として行われる造林請負事業としての植林事業	1980-1990	株式会社タイキ	アブダビ植林局
修景緑化プロジェクト	沙漠緑化政策の一環として行われる造林請負事業としての植林事業	1985-	国際耕種株式会社	ドバイ水資源局
アラブ首長国連邦 沙漠緑化研究協力	砂丘の固定ならびに節水、塩水灌漑下における作物生産の向上を中心とした基礎的研究	1985-	JICA/静岡大学農学部	アラブ首長国連邦大学
ネジド農業研究センター	試験農場であるネジド農業研究センターでの乾燥地における作物栽培の指導及び助言	1996-	国際協力事業団	オマーン農漁業省

国内においては、1992年秋に開催された「湾岸諸国緑化シンポジウム」に、アドバイザーボードの一員として参加させて頂いた。ここでは、湾岸諸国における緑化の現状に関する報告を受けると同時に、緑化及び水供給技術も含む極めて幅広い分野に関して将来の展望を、現地からの参加者と一緒に検討することが出来た。

本シリーズではこうした長い経験をもとに、湾岸諸国における理想的な技術協力のあり方を考えてみたい。そのために、アラブ首長国連邦で実施されたいくつかの活動に着目し、プロジェクトがどういった経緯で始まり、どのように実施され、現地側に移管された後、現在どうなっているかを分析、評価する。さらに、同時期に実施されていた欧米や国際機関の援助活動と比較する中から湾岸産油国における理想的な技術協力のあり方を模索してみたい。湾岸諸国が次々と援助対象国からはずされて行く現状も考え合わせて、今後の活動がどうあるべきかを考えるべき時期に来ているのではないだろうか。